

事務事業名 消費生活展開催補助金

区分	No	名称					
章	2	自然とともに暮らすまち					
節	3	安全に安心して暮らせるまちづくり					
施策	4	安全な消費生活の確保					
小分類	1	消費者対策の充実					
主要な施策	1	消費者意識の啓発及び学習機会の充実					
事務事業番号	002	事業開始年度	平成 11 年度	事業終了年度	平成 - 年度	会計種別	一般会計

部 名	市民生活部	グループ名	市民サービスグループ
-----	-------	-------	------------

事務事業の概要

《Plan・Do》

目的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	消費生活展の開催を支援することにより、消費生活に関する知識の向上を図り、消費生活の安定と向上を図ることを目的とする。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成23年度の実績を具体的に記入してください)
	消費生活展を開催する登別消費者協会に対し、その開催に要する経費の一部を補助する。 【消費生活展の開催内容】 開催日時 毎年10月 開催場所 登別市民会館 中ホール 実施内容 展示コーナー、体験コーナー、試食コーナー等
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
	発案内容等の見直しを図っているが、変化する社会環境に対応するため、さらに内容を拡充しその年に沿ったテーマを模索する必要がある。各コーナーの内容を充実させながら継続して開催する必要がある。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)
	登別市消費生活条例

事業費（財源内訳）の推移

《Plan・Do》

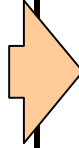
区分		単位	H22年度 決算	H23年度 決算	H24年度 当初予算	H25年度 見込	H26年度 見込
国庫支出金	名称	千円					
道支出金	名称	千円					
地方債	名称	千円					
その他	名称	千円					
一般財源	名称	千円	300	300	300	300	300
事業費 合計			300	300	300	300	300

指標の推移

《Check》

区分		単位	区分	22年度 実績	23年度 実績	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標	消費生活展コーナー数	件	目標値	20	18	15	15	15
			実績値	11	11			
	消費生活展来場者数	人	目標値	600	700	750	750	750
			実績値	700	700			

現況		《Check》
現状の状態、問題点、課題等《事業前》	具体的な対策、解決の方向性《事業後》	
<p>消費者問題に対する啓発等を行う登別消費者協会の消費生活展を支援することにより、より広く市民への啓発活動が図られているが、多様化する消費者問題を未然に防ぐための活動を継続して実施しなければならない。</p>	<p>多様化する消費者問題を未然に防ぐため、今後についても登別消費者協会の消費生活展を支援して、継続した消費者問題に対する啓発活動を行う。</p>	



担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可） 《Check》

1. 事務事業の妥当性について		
<p>市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？</p>	<p>市が主体に行うべき事業である</p> <p>民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である</p> <p>国、道、他団体等との連携や広域化が可能である</p> <p>国、道、民間等の事業と重複・類似している</p>	<p>判断理由及びその他所見</p> <p>消費者被害や、昨今問題視されている食の安全・安心を図るための登別消費者協会の活動である、消費生活展を支援することは市民への啓発活動の一環ともなるため、妥当である。</p>
2. 事務事業の必要性について		
<p>市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？</p>	<p>市民、団体等から具体的な要望がある</p> <p>市民アンケートの結果から必要性が高い</p> <p>社会情勢、地域事情等から必要性が高い</p> <p>市民の大部分が関連することから必要性が高い</p>	<p>判断理由及びその他所見</p> <p>より多くの市民の来場を図り、幅広い年齢層の市民に対して啓発活動を実施できるよう、様々な工夫が必要となることから、必要性が高いと言える。</p>
3. 事務事業の効率性について		
<p>事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？</p>	<p>低予算、少労力で高い効果をあげている</p> <p>市で実施するほうが民間委託より効率性が高い</p> <p>多額の経費や労力を要するがやむを得ない</p> <p>将来的に効率性を向上できる</p>	<p>判断理由及びその他所見</p> <p>限られた予算の中で工夫を凝らし、毎年異なったテーマを設けて700人もの来場者を獲得し、啓発活動を実施することができている。</p>
4. 事務事業の成果について		
<p>目的を達成するための成果はあがっていますか？</p>	<p>成果指標の向上が見られる</p> <p>市民、団体等の声から成果を感じられる</p> <p>目に見える形で成果があがっている</p> <p>成果の把握は困難である</p>	<p>判断理由及びその他所見</p> <p>来場者数は停滞しているものの、体験コーナーを設けるなどの工夫を行い、幅広い年齢層の来場者があることから成果は向上している。</p>

担当グループによる評価 《Check》

維持	<p>左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）</p>	<p>市民の消費生活の安定と向上を図るため、引き続き、登別消費者協会に対して、消費生活展開催に係る経費を補助する。</p>
----	-----------------------------	---

行政評価会議による評価 《Check》

維持	<p>備考</p>
----	-----------